

産科 婦人科 漢方  
浮田医院  
だより



第 9 号

発行所：産科 婦人科 漢方  
浮田医院  
〒520-1214  
滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28  
TEL 0740-32-3751  
FAX 0740-32-3795  
発行日：平成10年10月5日(月)  
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ (9)

気逆 (のぼせ) I



過ぎしやすい季節になりましたが、今年の夏は、異常気象となり、各国で洪水の被害が報告されました。中国の揚子江に沿った穀倉地帯も水害の大打撃を受けたと言っています。日本は、漢方薬の原料である生薬のかなりの部分を中国から輸入しているため、生薬確保のため奔走してくれている人々の努力は大変なものと思われまます。ですから、生薬を大切に、皆のお陰で漢方薬が飲めるという感謝の気持ちを持ちたいものです。日本でも、水害、地震、毒物騒動・・・と例年に比べて、騒々しい年になってしまったようです。このような不安定な世の中で生かされていきますので、不安、恐怖・・・が続くと、私達の体の表面や内臓を循環している「気」の流れに異常が生じやすくなります。

ですから、できるだけ「のんびり」と、「息抜きし」、「気の休まる土地を訪れたり、絵画、音楽、風景・・・を楽しみ、「こころ」に素直になり、おどおどしたり、不安になったり、イライラしたりしなければ、正常な「気」を



夫婦岩 (二見浦)

維持することができているのではないのでしょうか？  
今月は、「気逆」を話題にしてみます。「気逆」は、「気の流れが逆になる」ことで、普通、私達の体の気は、体の中心部から末梢（手足の先）へ、頭の方から足の方へ流れています。ところが、不安や恐怖の程度が強かったり、長く続くと、下半身から上半身へ、「気」が流れ始めます。胸腹で起こることが多く、特に、「水毒」のある方は、その症状が強く出、動悸、顔のほてり、頭痛が起こってきます。このような「気」を「奔豚気」と言っています、昔の人は、まさに、豚が腹部を駆け巡り、胸や咽に猛進すると言ったような例えをしています。一例を示しますと、汗かきで、口がひどく渇きやすい糖尿病の方ですが、ある日、夫と口論になり、理性を失い、体中が振るえる程、ひどく興奮し、その日はほとんど眠れず、翌日も激怒していましたら、夕方頃になると、下腹部が脹って心臓が飛び出すばかりにドキドキし始め、「ピンポン玉」のような物



が、下腹部から咽に向かって突き上がってくるような感じがし、咽がつまって息が止まりそうになったり、頭痛がしたりし始めたそうです。その後、動悸や咽のつまりにおびえて生活するようになりました。このような病状を漢方の領域では、「奔豚病」と言って、気を引き下げる漢方薬で、正常な気の流れを取り戻すことができます。体の中心から手足の先へ流れるべき「気」が、手足から体の中心へ流れると、手足が冷え冷えとして、痛みやしびれが出てきます。この病態は、手足の冷え、下腹部痛、下痢、寒気を伴いやすく、冷えが逆行すると言の意味で、「厥冷」或いは「厥逆」と呼ばれています。

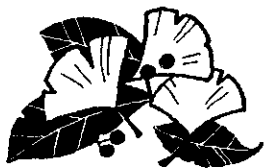
心下部、特に胃の気が逆行すると、胃の内容や胃液が逆流して、嘔吐したり、尿の出が悪くなり、ひどく口が渇くようになります。このような病態は「水逆」と呼ばれています。例を挙げてみます。5歳の女兒、前日から食欲がなく、元気もなく、布団をかけてもはねのける。熱を計ると、38.5℃で、抗生物質を飲ませると、吐いてしまっ

た。それからは、ジュースでもアイスクリームでもすぐに吐いてしまう。咽が渇き、水分を欲しがりますが、飲ませると吐いてしまう。この時、「水逆」の時に用いる漢方薬を使用すると、大抵の場合、2〜3回の服用で症状がなくなりま

す。肺の気の流れが逆になると、咽がイガイガしたり、発作性に起こる空咳に苦しむようになります。これは「大逆上気」と呼ばれ、風邪が長引いた時や、妊娠中によく起こります。

以上、「氣逆」の4つのタイプを紹介しましたが、実際には気だけだけでなく、水や血、陰陽、虚実が関係しますから、事は複雑になります。次回は、具体的な例をお示ししましょう。

〔院長〕



## 子宮内膜症の方へ

子宮内膜症は、月経痛、下腹部痛、腰痛、性交痛、不妊症、過多月経、肛門痛、排便痛・・・を伴い、晩婚化、出産年齢の高齢化、少子化が原因で増加し、原因不明不妊症の50%を占めています。問診、内診（直腸診）、経膈超音波、腫瘍マーカー（時に、CT、MRI、腹腔鏡）で診断し、西洋医学的治療（ホルモン治療、手術治療）が盛んに行なわれていますが、軽症〜中程度の方の場合、漢方薬により、症状や病状が改善し、ホルモン剤と異なり、月経も排卵もなくなりませんから、治療中も妊娠可能です。子宮内膜症でお悩みの方、ご相談下さい。



## アトピー性皮膚炎のお知らせ

お肉・脂肪中心の食事や大気汚染などの生活環境（外因）と体質（内因）が深く関係した厄介な病気で、精神的にも肉体的にもダメージを受けやすい方に発生しています。

漢方薬は、湿疹の原因となるウイルスを【汗、便、尿】から体外に出し、胃腸をよくして、根本から治療します。また、自律神経の働きを調べて、ストレスから心や体を守り、心に「やすらぎ」を与えてくれます。漢方治療には、湿疹や滲出液の状態から薬を決める「標治法」と体質から薬を決める「本治法」があります。「標治法」と「本治法」を上手に組合せ、軟膏や抗ヒスタミン剤や抗アレルギー剤を併用することです。アトピーでお悩みの方、ご相談下さい。



## 当院の漢方治療のお知らせ



### 剤型について

- ・エキス漢方：エキス顆粒の漢方薬（大部分“粉薬”、一部錠剤）。携帯に便利です。
- ・煎じ薬：お茶の様に煮て作ります。必要な生薬を組合せて“漢方薬”を作ります。

当院のエキス漢方は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿める場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が湿りやすい場合、当院の“漢方専用容器”（無料）をご利用下さい。

### 適応症について

- ・すべての疾患に適応できます。疲れ、食欲不振、便秘、排尿障害、むくみ、痛み、冷え、ほてり、動悸・・・などあらゆる症状に対応できます。
- ・漢方薬のよく効く疾患  
アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、接触性皮膚炎、帯状疱疹後神経痛、便秘、子宮内膜症、生理痛、更年期障害、冷え症、低血圧症、下痢、風邪、肥満、クーラー病、夏ばて、慢性膀胱炎、過敏性大腸炎、神経痛、膝関節症、前立腺肥大、頭痛、切迫流産、切迫早産、妊娠中毒症、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、肩凝り、虚弱児、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃腺炎
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患  
高血圧症、喘息、アレルギー性鼻炎、関節リウマチ、腎炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、肝臓癌、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用時倦怠感・・・・・・・・

### エキス漢方と煎じ薬について

- ・軽症の病気：漢方製剤（エキス顆粒）を組合せて治療します。
- ・中程度の病気：漢方製剤と単味の生薬エキス顆粒を組合せて治療します。
- ・重症の病気やエキス顆粒無効の場合  
煎じ薬を使います。より細やかに治療できますので、治療効果も優れています。オーダーメイド漢方ですから、エキス漢方と比べ、より優れた効果が発揮されます。

女性の方に限らず、男性の方や子供の方もご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診断法（四診）や検査（超音波、血液、尿、便、心電図、骨塩量測定・・・・・・・・）などを利用して、“漢方薬”の決定をします。

### 入院食のお知らせ

厨房のスタッフが心をこめてお作りします。皆様方に安心して食べていただけるよう、塩分、糖分、カロリーに気をつけ、素材は十分に吟味し、薬膳料理も取り入れています。

### 院長の講演会のお知らせ

- ・10月17日(土)：“漢方薬のすばらしさ”（どなたでも）  
第1回安曇川漢方懇話会(安曇川一浮田医院)
- ・10月25日(日)：“夏まけに菱桂湯”（医師、薬剤師）  
日本東洋医学会関西支部総会(京都国際交流会館)
- ・10月31日(土)：“女性と漢方”（村田高明）座長(医師)  
滋賀県産婦人科医会研修会(ホテルポストンブラザ草津)
- ・11月19日(木)：“肩凝りの漢方治療”（医師、薬剤師）  
第39回滋賀漢方懇話会(ホテルロイヤルオーク滋賀)
- ・11月22日(日)：“生理痛の漢方治療”（医師）  
日本東洋医学会-専門医研修会-講演  
(ホテルポストンブラザ草津)
- ・12月13日(日)：滋賀県産婦人科医会総会 理事会  
(滋賀県医師会館)

### レシート及び領収書の保管

レシート及び領収書の再発行はいたしません。大切に保管して下さい。

### “処置診”のお知らせ

処置、検査、点滴、針の場合【受診者名簿】の【処置診】のところにお書き下さい。

### 皮内針のお知らせ

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。お気軽にご相談下さい。  
[適応] 肩凝り、腰痛、神経痛、筋肉痛・・・

### 骨量測定のお知らせ

極少量のX線吸収を利用し（DEXA）、1分で測定できます。結果は、直ぐにお渡しします。骨量の心配な方、お申し出下さい。

### 駐車場のお知らせ

- ・北駐車場（日曜・祭日・祝日：終日閉鎖）  
月・水・金：午前8:30～夕方診終了まで  
火・木・土：午前8:30～午前診終了まで
- ・東、南駐車場：終日駐車可能

**母親教室（前中期）のお知らせ**

日時：10月13日(火)、12月8日(火)  
 対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)  
 場所：当院1階  
 予定：薬と病気(院長) :午後1:30~1:55  
 :軽体操(助産婦・看護婦):午後2:00~2:15  
 :食事と栄養(栄養士) :午後2:20~2:45  
 :ティータイム :午後2:50~3:05  
 :妊娠生活(助産婦) :午後3:05~3:30

**母親教室（後期）のお知らせ**

日時：10月27日、11月17日、24日、12月22日(火)  
 対象：妊娠8~10ヶ月の方(定員5名)(無料)  
 場所：当院1階  
 予定：入院時期と準備 :午後1:30~1:50  
 :分娩の経過 :午後2:00~2:25  
 :ラマーズ法教室 :午後2:30~2:55  
 :ティータイム :午後3:00~3:15  
 :病棟案内 :午後3:20~3:25  
 :記念撮影(後日お渡し):午後3:25~3:30

お気軽にご参加下さい。ご主人も一緒に参加されませんか？  
 皆様方のご希望に答えて、後期母親教室の回数をできるだけ月2回にいたします。  
 申し込み方法：申し込みノートにご予約ください。

**母親教室（前中期・後期）ティータイムのお知らせ**

今月は「シナモンレーズンロール」と「バナナとチョコレートムースのセサミパイ」です。午後のひとときをちょっと贅沢に過ごしませんか？「シナモン」はマレー語で「木が甘い」と言う意味で、この「甘い香」は人をうっとりさせる力を持ち、身体やベットに塗る習慣があり、古代エジプト時代から、嗜好品として使われてきました。「ケーキ」には、ゴマをたくさん入れました。ご期待ください。



**外 来 診 療 時 間**

	月	火	水	木	金	土	日
平 前	一般外来	妊婦外来	漢方外来	漢方外来	妊婦外来	一般外来	—
夕 方	更年期外来	—	不妊外来	—	漢方外来	—	—

午前の診療(月~土)：午前9:00~正午 夕方の診療：午後5:30~午後7:30  
 火曜日の午前診療：午前11:00~正午:産後検診(新生児、母親)、乳児検診を優先いたしますので、ご了承下さい。  
 水曜日の夕方診療：妊娠中の方の定期健診はご遠慮下さい。急患の場合は、この限りではありません。  
 漢方外来・一般外来：男性の方、女性の方、子供、どなたでもお越しください。

**第5回妊婦のための料理教室**

日付:平成11年2月12日(金) 時間:午前10時~午後2時  
 対象:妊娠中の方(無料) 献立:ミニフランス料理

**赤ちゃん健診(2と3カ月)のお知らせ**

赤ちゃんの2カ月健診、3ヶ月健診もしています。  
 日時：毎週火曜日、午前11時~正午(2000円)

**漢方入浴剤のお知らせ**

お風呂で、漢方薬草風呂としてご利用下さい。  
 美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび  
 昇竜湯：神経痛、腰痛、肩凝り、疲労回復  
 症状に応じた【漢方薬草剤】もお作りします。

**産後の集いのお知らせ**

皆様方ご要望により、産後1~3カ月のお母さんと赤ちゃんを対象に「集い」を開いています。「手作りケーキとお菓子」もご用意しております。  
 日付:10月20日(火)、11月11日(火)  
 時間:午前11:00~午後12:30 浮田医院(無料)  
 申込:申込ノートにご予約下さい 定員:5名

**看護婦・助産婦・看護補助・受付の募集のお知らせ**

看護婦、助産婦、看護補助、受付(医療事務免許必要)の方で、常勤あるいはパート勤務できる方、ご連絡下さい。  
 面接:随時、各種保険加入、賞与:年2回、交通費支給

**赤ちゃんのビデオ撮影のお知らせ**

院長の説明とバックミュージックが録音されます。  
 ご希望の方は、受付にお申し出下さい。